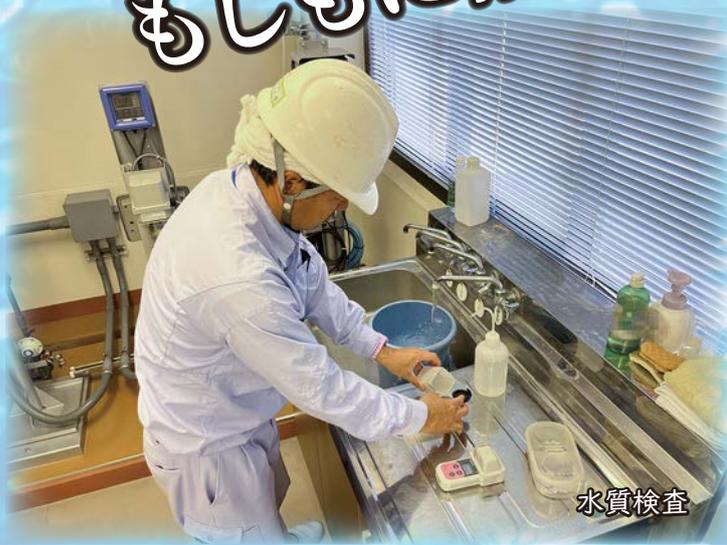


もしもに備えて、いつもを守る

片柳町4丁目に整備中の雨水渠



水質検査



水道管点検

目次

- 水道・下水道の安全を守るために
 どんなことをしているの? ……2
- 栃木市水道ビジョン・下水道事業経営戦略
 を見直しました ……3
- 上下水道局からのお知らせ ……4
 雨水渠整備事業現場見学会 ほか
- 下水道夫のコラム:ミネルヴァの梟(ふくろう) …4
 水道水の安全を守る金魚

栃木市上下水道料金お客様センター

TEL 0282-25-2100

FAX 0282-25-2107

使用開始、休止のご連絡、料金のお問合せ

栃木市上下水道局 ホームページ⇒



発行 栃木市上下水道局上下水道総務課
TEL 0282(25)2103 FAX 0282(25)2107

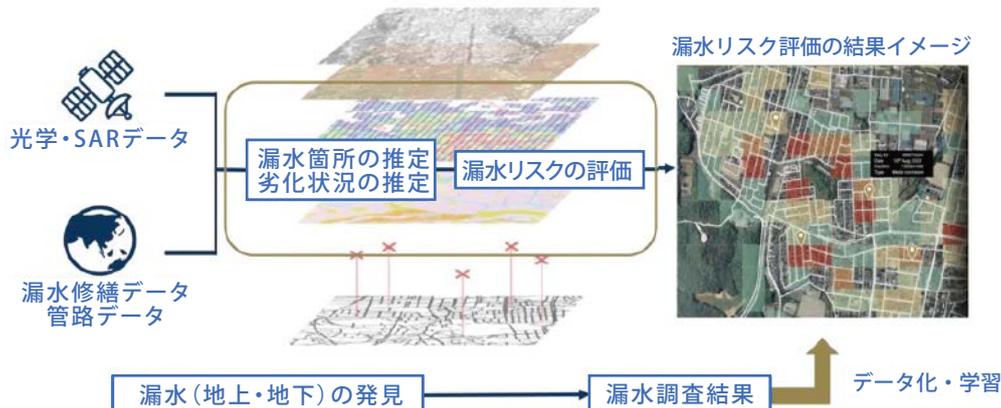
栃木市菌部町3-13-24
email:suidou@city.tochigi.lg.jp

水道・下水道の安全を守るためにどんなことをしているの？

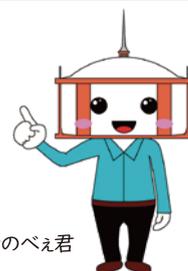
全国的に水道管・下水道管の老朽化等による事故や水質の異常が報告されています。水道・下水道の安全を守るために、栃木市はどんなことをしているのか、その取り組みの一部を紹介します。

人工衛星データとAI技術を活用した漏水調査を行っています

水道管の漏水調査は、地下の漏水音を機械を使って探知します。従来は、古くなった水道管がある地域を中心に調査範囲を決めて行っていましたが、令和6年度から、人工衛星が取得するビッグデータとAI技術を駆使して漏水リスクを評価するクラウド型のマッピングサービスを導入し、特に漏水しやすいと想定される地域を優先的に調査範囲とすることで、費用や期間を縮減できる効率的な調査を行っています。



令和6年度は最新技術で漏水しやすいとされたところも含めて、市内全域で145km分の漏水調査を行ったよ。



栃木そのべえ君

お問合せは 水道建設課 建設管理係 ☎0282-25-2116

PFOS・PFOAの影響がないことを確認しています

PFOS・PFOAには、水道水において合わせて1リットルあたり50ナノグラムを超えないようにする暫定目標値が定められています。これは、毎日2リットルの水道水を一生飲み続けても健康への悪影響が出ないレベルとされています。

栃木市は全18か所の浄水場において、水質検査を実施し、いずれも暫定目標値を超えていないことを確認していますので、安心してご利用ください。

お問合せは 水道建設課 施設係 ☎0282-25-2101

PFOS・PFOAって何？

有機フッ素化合物の一種であり、油や水をはじく、熱に強いなどの特徴があり、2000年代初頭までさまざまな用途で使用されてきました。

環境中に残りやすい性質であるため、生活を通して体内に取り込まれ、蓄積した際の人体への影響が懸念されています。

水質検査の詳しい
検査結果はこちら



上下水道管の点検を強化しています

現在、市内の道路に埋設されている上下水道管のうち、重要な管の点検を強化しており、6月に上下水道局全体で点検を実施しました。

今回の点検で路面のひび割れなどの不具合が確認された箇所については、緊急度に応じてより詳細な調査を実施し、修繕を行うなど、早期に対応していきます。今後も定期的に点検を実施することで、異常の早期発見につなげ、安全にご利用いただけるよう、適切な維持管理を行っていきます。市民の皆さまも異常を発見した場合は、下記に連絡をお願いします。

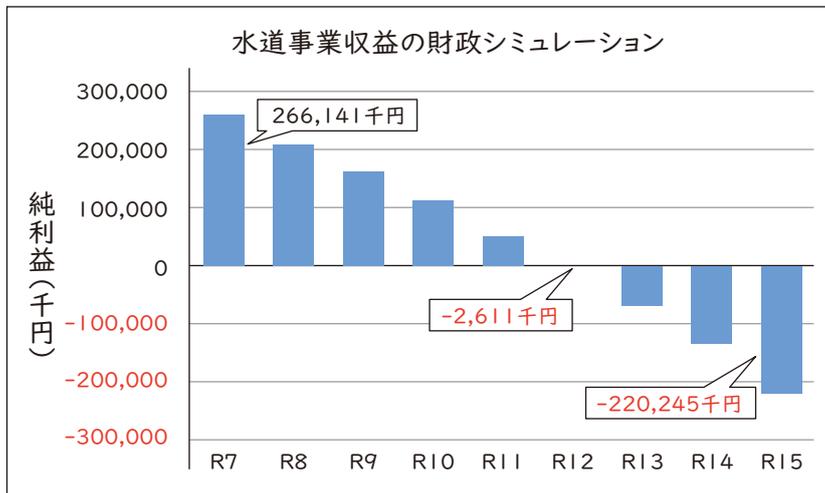


お問合せは 水道建設課 建設管理係 ☎0282-25-2116 下水道建設課 保全係 ☎0282-25-2111

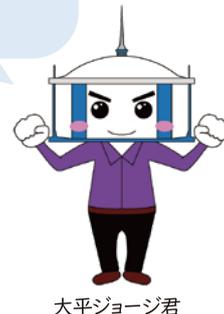
栃木市水道ビジョン・下水道事業経営戦略を見直しました

栃木市では、市民の皆さまに安全な水をお届けし、快適な下水道サービスを提供し続けるための計画として「栃木市水道ビジョン」「栃木市下水道事業経営戦略」を策定しています。

策定から一定の期間が経過したことから、近年の物価上昇などによる経費の増加や令和6年4月に行った料金改定(算定期間:R5~9年度)を踏まえ、資金計画の見直しを行いました。



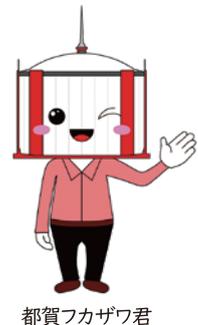
もし災害がおきても事業を継続できるように、資金の保有残高が1年間の給水収益である約22億円を確保できる計画になっているよ。



水道ビジョンの詳しい内容は
こちら⇒

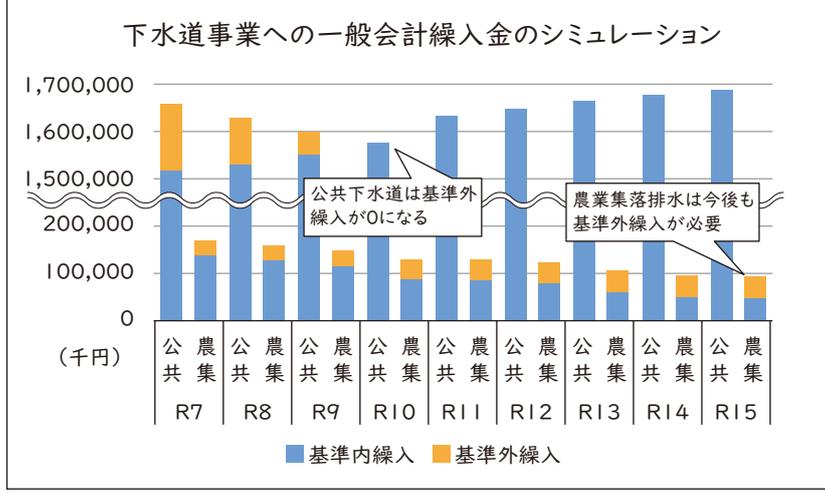
Q 途中から収支がマイナスになるのはどうして?

A 古くなった施設や水道管を直すお金が増えるためです



令和15年度までの10年間で約170億円が必要で、特に令和10年度以降は更新のために必要なお金が増えるんだ。
現在の水道ビジョンの計画期間は令和10年度までだから、それ以降は新たな水道ビジョンを検討していくよ。

効率的な運営を行うために、広域連携や民間活用、新技術の活用についても、検討を進めていきます。



公共下水道については、水道事業と同じように1年間の使用料収入である約15億円の資金を確保できる計画になっているよ。
でも、農業集落排水については、本来使用料で賄うべき分も市からの補助金に頼らないといけない状況が続くんだ。

下水道事業経営戦略の詳しい内容は
こちら⇒



基準内繰入…国が定めた基準により繰入が認められている補助金(雨水の処理など)
基準外繰入…本来使用料で賄うべき分の補助金。いわゆる赤字補填。

お問合せは 上下水道総務課 経営係 ☎0282-25-2103

うすいきよ
雨水渠整備事業現場見学会を開催しました



現在、片柳町4丁目(旧市営住宅跡地)に整備中の雨水渠について、一般の方を対象とした見学会を3月25日(火)に開催し、市職員が事業概要や工事内容の説明、現場の案内を行いました。

雨水渠とは、雨水を一時的に貯めたり、河川に流したりするための設備です。完成すれば、雨水が河川に入りきらずに住宅などが浸水してしまう内水氾濫を軽減する効果が期待できます。



栃木市みずぼーたるをご利用ください！



請求金額や、過去2年分の料金・使用水量が確認できます！

登録の際は検針票をご用意ください。

登録ページはこちら→



水道検針の際のお願い 

草木や積載物等により水道検針員が水道メーターを検針できないことがあります。皆さまのご協力をお願いします。

<検針できない例>

- ・草木が生い茂っているため、メーターの所まで行けない。
 - ・メーターの上に重いものが載っている。(車、バイクなど)
 - ・犬等がいるため、メーターに近づけない。
- などなど…



げすいみちお
下水道夫のコラム

ミネルヴァの梟(ふくろう) / 第6回

みなさん、こんにちは。下水道夫です。第6回目のコラムは「水道水の安全を守る金魚」の話をしたと思います。

みなさんは金魚は好きですか？つぶらな瞳、そして近づくと餌をねだって口をパクパクさせながら寄ってくる姿なんかは、すごく癒されますよね。上下水道庁舎に併設されている菌部浄水場の管理棟では、金魚が飼育されています。これは職員が癒しを求めるため…ではありません！実は金魚が水道水の異常を教えてくれるんです。

もし、水道水に異常があれば、泳ぎ方が鈍くなるなど金魚の様子が変わります。機械では察知しづらい小さな変化も、金魚の敏感な反応が手がかりになります。金魚にとって快適な水であれば、人間にとっても安全というわけです。もちろん、金魚の健康もしっかりと管理しています。

みなさんが普段飲んでいる水道水は、人間はもちろんのこと、時には小さな金魚までもが安全を守っています。そう思うと、一杯の水道水が少し特別に感じられてきませんか？栃木市のおいしい、安全な水道水、みんなで飲もう！



←このように水槽に入る各水源の水を切り替えることができますようになっています。